

飼い主のいない猫(野良猫)に 不妊手術を 正しいエサやりを



耳先がV字カットされています

私たちにとって身近な動物である「猫」。多くの猫はペットとして大切に飼育されている一方で、十分な知識のないまま安易に飼い始めた結果、適正でない飼育や飼育放棄、遺棄など様々な問題が浮き彫りになっています。

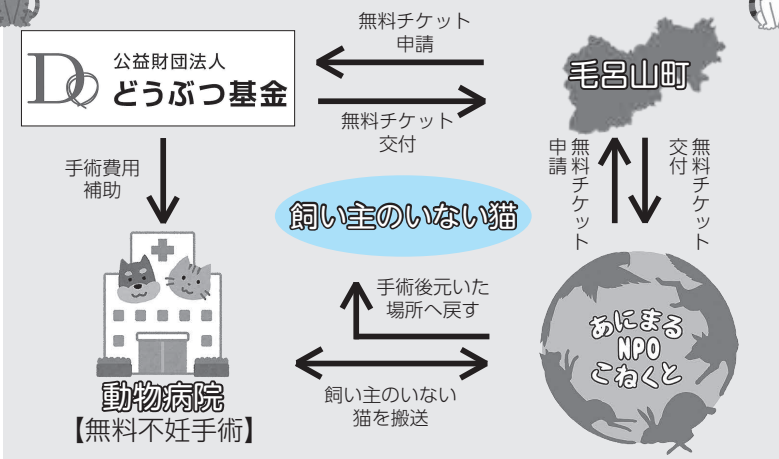
町には、飼い主のいない猫(野良猫)が民家の庭や畑などにふん尿をする・車に上って傷を付ける・花壇を荒らす・子猫をたくさん産んでしまっなど、猫に関する相談が寄せられています。

このような猫問題へ対応するため、飼い主のいない猫がこれ以上増えないよう不妊手術を行い、地域で一生涯その猫を適切に管理していく地域猫活動を推進しています。

毛呂山町では、令和2年4月1日から、公益財団法人どうぶつ基金(※1)から交付された無料不妊手術チケットを活用した「毛呂山町さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)」を開始しました。

本事業は、平成30年に毛呂山町民や坂戸市民により設立されたボランティア団体である「NPOあにまるこねくと」の協力のもと、TNR活動(※2)の実施や地域において飼い主のいない猫を適切に管理する地

【毛呂山町さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)の流れ】



域猫活動の推進を図るものです。なお、不妊手術を受けた猫には、手術を受けたしとして、耳先を桜の花びらのような形にV字カットします。そのような猫を「さくらねこ」と呼んでいます。

※2 TNR活動とは？
地域に住み着いている飼い主のいない猫を一時捕獲(Trap)し、不妊手術(Neuter)を行い、元いた場所へ戻す(Return)活動をTNR活動と呼び、このような活動により飼い主のいない猫がこれ以上増えないようにし、猫による生活環境被害や殺処分数を減少させることを目的としています。



※1 公益財団法人どうぶつ基金とは？
犬や猫の殺処分ゼロを実現するため、さくらねこ無料不妊手術事業や全国各地の保健所等で行われている犬や猫の団体譲渡制度を推進するための助成事業等を行っています。詳しくは左記URLまたはQRコードより、ホームページをご覧ください。
HP <https://www.doubutsukin.or.jp/>



「NPOあにまるこねくと」のホームページは左記のURLまたはQRコードよりご確認ください。
HP <https://aniconne.com/>



猫にエサやりをする前にまず不妊手術を

猫は室内で飼いましょう

猫はエサがあるところに集まります

猫の発情期は一年に2〜4回です

お腹を空かせた飼い主のいない猫が目の前にいれば「かわいそう」と思い、ついエサを与えたくくなります。しかし、エサを与え続けられれば、猫はその場に居着き、あつという間に数が増え、飼い主のいない猫を迷惑だと感じる人が増えてきます。不幸な飼い主のいない猫をこれ以上増やさないためにも不妊手術を行うことが大切です。なお、無料不妊手術のご相談については、左記までお問い合わせください。

問合せ 役場生活環境課環境係
☎295-2112 ④171-172

屋外で飼育すると、他人の庭や畑などへのふん尿、鳴き声などで地域に迷惑をかけてしまう恐れがあります。また、屋外に出ることで交通事故に遭ったり、感染症にかかり命を落とす危険性もあります。猫はエサが十分に得られれば、特に広い生活空間は必要としないため、猫の健康と安全を守るためにも、室内で飼ってください。



猫に一度でも屋外でエサを与えてしまうと、またエサがもらえると期待してその場に集まり続けます。飼いのために屋外にエサを置いている場合でも他の猫が集まってしまっても集まります。(場合によっては猫以外の動物



猫は、自らの意思で繁殖をコントロールすることができません。メス猫は生後4〜12か月で子猫を産めるようになり、年に2〜4回の発情期があります。1回に産む子猫の数は4〜8頭で、1年間で20頭以上増える可能性があります。

飼い主のいない猫を減らしたい



生活環境課 環境係長

ボランティア団体「NPOあにまるこねくと」で活動しているお2人に、現在の活動状況などについて聞いてみました。



NPOあにまるこねくと 代表 増山 麻幸さん



NPOあにまるこねくと 捕獲担当 鳥井 裕美さん

現在の活動状況を教えてください。



環境係長

令和2年4月の事業開始から既に261頭の不妊手術を行いました。無料チケットが使用できる病院は限られていて、週に1度約32km離れた動物病院まで連れて行き、手術が終わればまた迎えに行っています。大変ですが、「ありがとう」、「助かった」など地域の方々から感謝されると、また頑張ろうという気持ちになります。近所にいる飼い主のいない猫が、1頭しかいないからエサをあげても大丈夫だと思う、エサをあげるのであれば責任を持って不妊手術をしてあげてください。



鳥井さん

町民の皆さんにお伝えしたいことはありますか？



環境係長

不妊手術だけでなく、民家の壁に入り込んでしまった子猫の救助や、手に負えないほどの多頭飼育になってしまっている猫など、町民の方々から様々な相談が寄せられています。また、スタッフは皆、家庭や仕事を持っていて時間の合間を縫って精一杯活動していますので、依頼される方は活動に対するご理解・ご協力をいただきたいと切に願っています。



増山さん

飼い主のいない猫が増えようと地域に深刻な影響を及ぼし、解決までに相当な時間がかかります。

